

スキンケアの起源とその進化

スキンケアの起源は、具体的な記録が不足しており、確定的なことは言えませんが、旧石器時代に存在していた可能性が考えられます。

彼らは自然の水源、例えば雨水や川の水を使用して肌を洗い、清潔に保つとともに、獣の脂を肌に塗り油膜を作り、暑さや寒さ、水分蒸散、異物侵入から肌を保護していたと推測されています。これは、肌を洗うや油膜を作る行為の原始的な形態であり、スキンケア製品を使って肌を洗うことで、暑さや寒さ、水分蒸散、異物侵入から肌を保護する近年 1960 年代までのスキンケア原理と同じです。

スキンケアの歴史は、人類の生活環境や技術の進歩とともに変化し続けてきました。そして、1960 年代には、現代で一般的に知られているスキンケアの手順「洗顔、化粧水、そして保湿」が多くの企業や研究者によって開発されました。これにより、現代のスキンケアの目的は、「肌を清潔に保ち、肌を健康にする」から「肌の見た目を一時的に美しくする」に大きく変わりました。

基本的なスキンケア製品としては、洗顔料、化粧水、美容液、乳液、クリームなどがあります。これらの製品は肌を清潔に保つ、水分を補給し、肌を柔らかくし、保湿する役割を果たします。しかし、これらの製品は肌の表面に塗ることで「肌の見た目を一時的に美しくする」ことが主な目的で、肌そのものを健康にする、つまり皮膚のバリア機能を正常に保つことを目指していません。本来の使用目的「肌を健康にする」からかけ離れ、使用目的が「メイク化粧品」と同じようになっています。

皮膚のバリア機能は、肌の健康を維持するために非常に重要な役割を果たしています。この機能が正常に働かないと、水分が蒸発しやすくなり、肌は外部からの刺激に対して脆弱になります。そのため、スキンケアの真の目的は、単に肌の見た目を美しくすることではなく、肌のバリア機能を保つことにより、肌そのものを健康に保つことです。

これがスキンケアの本質であり、その起源と進化を理解することで、私たちはより効果的なスキンケア方法を見つけることができます。「見た目の美しさをつくる」のは、「メイク(化粧)」の領域であり、スキンケアとは異なる目的を持っています。